

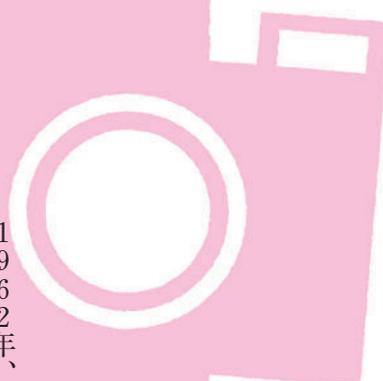


後列右端が筆者。

ゼロックス革命草創期

小林 陽太郎

富士ゼロックス 相談役最高顧問



1962年、富士フィルムと英国ランクゼロックス社の合併として富士ゼロックスは誕生した。この写真はその後、合併契約更

新直後に撮られたものだ。もともとランクゼロックス社は、1956年に米国ゼロックス社と英国ランク社間の合併として

生まれた英米

の合併企業。

従って、富士

ゼロックスは

実質的に日英

米の三社合併

企業だった。

日章旗、ユニ

オンジャック

ク、星条旗

の三つの国

旗を背景に

しているの

はそのため

である。

テーブル

を前に向かって右から二人目が

ゼロックスのウィルソン社長。

彼は1940年代にパテルと

いう一研究所で研究開発中の

ゼログラフィーに着目し、私

財をも投げうって商品化に命をか

けた。彼抜きにその後のゼロック

ス革命はあり得なかった。彼はま

た、アスペン研究所にも深く関わ

り「企業と社会」を見つめ続けた

先進的経営者でもあった。

その隣が私の父で当時富士フイ

ルム社長の小林節太郎。フィルム

の合併目的は将来の非銀塩写真技

術取得にあったが、ウィルソン氏

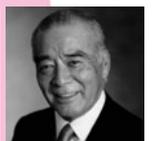
の人物に父がぞっこん惚れ込んだ

のも重要な要素だった。

さらにその隣は英国ランク社の

総帥デイヴィス氏。超ワマン経

営者だったが、傘下のランク映画



私の思い出館
写真真館

社の女優さんを含めて6人の妻を持つ（もちろん別々の時期に）艶福家でもあった。

後列左から四人目が私に経済同友会入会をすすめてくださった弁護士の木戸孝彦氏。

新米取締役の私は後列右端である。40年も前のことだから髪も黒くフサフサだ。

ゼロックス革命は世界のオフィスを大きく変えた。そのアジアでの勧進元、富士ゼロックス草創期の国際サムライ群のグループ写真である。

